

# 先輩が地元で輝く

## 岩日タイムズ

発行者

岩瀬日本大学高等学校  
新聞部

築 真優子  
藤 真希  
澤 優花  
相 澤 華蓮  
田 部 紗  
谷 岡 更  
飯 岡 美  
橋 詰 香  
岡 野 步

### 卒業生に密着

「ミュージアムコンパニオン」  
大里紘子さん

12月17日に茨城県坂東市にある「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」を取材しました。本校の卒業生でもあり、ミュージアムコンパニオンとして働いている、

大里紘子さんのお仕事に密着しました。

大里さんは、本校在学中は文系クラスに所属し、動物飼育のために専門的に学進しました。そこ

で動物や自然環境について学んだことを活かし、茨城県自然博物館の展示解説員として働くことを決めたそうです。

私達新聞部は、ガイドツアーを終えた大里さんにインタビューを行いました。  
Q1 この仕事のやりがいを感じるとこ



部員のインタビューを受ける大里さん



展示の説明をする大里さん

ろや、難しいところは？  
A1 たくさんのお客様が来るので大変な時もありますが、ガイドツアーに参加した方が「楽しかったよ」という感想を言ってくることが何よりも嬉しい気持ちになります。  
Q2 高校生活の思い出は？  
A2 時杉先生の世界史の授業はよく覚えています。やはり仲の良かった友達と一緒におしゃべりしたことでしょうか。  
Q3 後輩の岩日生に一言メッセージを

お願いします。  
A3 高校では視野を広げて、様々なことに挑戦して経験を積むと良いです。その中で自分が好きなことを見つけて、進路につなげてほしいと思います。  
短い取材時間の中、大里さんの案内で館内の展示を見学することができました。知識が豊富で、どんな質問にも丁寧に答えてくれました。皆さんもぜひ自然博物館に足を運んで見てください(岡野)



### 編集後記

私が館内で最も印象に残ったのは、ホッキョクグマや、涸沼で発見されたヒヌマイトトンボなど絶滅危惧種コーナーです。このような動物を地球上から減らさないためにも「地球人」として、自然をもっと大切にしようとして認識しました。

大里さんの案内はとても優しく丁寧で、身近な先輩として、社会人として魅力を感じました。社会人になれば、言葉遣いは大切になります。先輩のような丁寧な言葉遣いを目指していきたいです。(相澤)